



特集 タイムスリップ江戸時代 突撃！となりの仕事人 大学学長

編集後記

あっという間に1年が過ぎてしまいました。フリーノートへの書込みや投稿募集に参加してくれたみなさんどうもありがとうございます！そういえば、YAコーナーの壁面アートには気付いてもらえましたか？6月に担当スタッフで、布テープを使って作成した作品なんです。これからもYAコーナーをごひいきにおねがいしますね。次号もお楽しみに (編集長：M・O)

私は高校生のとき日本史が結構好きでした。教科書を読むだけでは実感がわかないことも、関係する場所を訪れると「本当にあったことなんだ」と歴史を感じられます。(編集：A・K)

時代小説、実はあまり好きじゃなかったのですが、今回特集のためにトライしました。結果は…意外と面白い…はまりそうというものでした。今まで何となく読むのを避けていたという人、是非一緒にハマりませんか (編集：S・T)

2010年話題になった大河「龍馬伝」。偶然にも浜の町の鉄橋で香川照之さんをお見かけしました！手を振って頂きましたが、とっても気さくな雰囲気の方でしたよ。来年の大河に合わせて、YA展示本は江戸の本を集めています。手にとってみてね (編集：C・F)



#YAコーナーからお知らせ#

特集テーマ「タイムスリップ江戸時代」

2010年、NHK大河「龍馬伝」や映画「大奥」「武士の家計簿」など、江戸が大ブーム！！

2011年も、第二代将軍と結婚をした女性が主役の大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」が始まります。

まだまだ、歴史ブームは終わらなそうです。
江戸時代ビギナーでも楽しめる、読みやすい本を集めています。

投稿テーマ「将軍様のおおせのとおり」

もし自分の好きなように世の中の決まりを決められたら…どんなことを願いますか？

11・12月の投稿は、自分が将軍になったら作りたい
取り決めを大募集！

可愛いものから壮大なものまで、みんなの「御触れ」をお待ちしています。

#利用についてのおお願い#

※自習はスタディールームを利用しましょう。

図書館では読書や調べものをされる方のために席をご用意しています。館内の閲覧席での自学自習はご遠慮ください。※玄関前も含めて建物・敷地内では飲食ができません。(レストランだけ例外)

「WAKABA」第25号 (YA通信 / 12・1月号)
表紙の写真:住友生命ビル前郵便ポスト 発行:YA編集部
Nagasaki City Library, 2010~2011

突撃となりの仕事人



10・11月に行われた文学講座で講演をされた、長崎外国語大学学長の池田先生に講演会後、YAボランティアの高校生が突撃インタビュー☆ドイツ文学が専門で主にゲーテの「ファウスト」を心理学の方法で研究されているという池田先生。普段は聞けない、学長というお仕事についてお話してもらいました。



今月のお仕事 大学学長

仕事人ファイル:5

長崎外国語大学学長
池田 紘一さん

YA: どうしてこの仕事を目指したのですか？
初めは大学教授としてドイツ文学の研究をしていたのですが、長崎外国語大学から学長になる招きを受けて、自分も前から歴史の中で「長崎」と「外国語」という結びつきが素晴らしいと感じていたため、学長になりました。

YA: この仕事のやりがいはどこですか？
学生たちが入学して卒業するまでの間で成長していくことに、自分が役立っていること。
また人間として大きくなり、かつ外国語をマスターした姿を見ることが出来るそのプロセスに立ちあえることですね。

YA: この仕事の大変なところは何ですか？
やはり、リーダーとしてしっかりとの方針を持って大学を発展させ、学生を育てることです。

YA: もし、この仕事についてなかったら、何の仕事をしていたと思いますか？
大工・庭師・料理人ですね。

YA: 大学教授、学長になるには？
学長を決めるときは学長選挙が行なわれます。そして学内または学外の教授から学長が選ばれます。
私が考える学長に必要なこととして①優れた研究をしていること②人望があること③リーダーの資質を持っていること。この3つが必要不可欠だと思います。

YA: 中高生にオススメの本、映画は？
本だと 吉野源三郎の「君たちはどう生きるか」
映画だったら、チャールズチャップリンの喜劇映画「モダンタイムズ」
あとヒッチコックの推理映画「知りすぎた男」は何度みても素晴らしいです。

YA: お休みの日は何をしていますか？
自分の勉強をするか、息抜きのために庭仕事をしたりします。

「君たちはどう生きるか」
吉野源三郎 / 著 改訂
ジュニア版吉野源三郎全集
1
ポプラ社 Y/159.5/ヨ
(¥1200)



YA: ドイツにお住まいだったことがあるそうですが、おすすめの食べ物は？
ソーセージ、パン、チーズ、ビールです。

YA: 最後にこの仕事を目指す人たちにメッセージをお願いします。
ただひたすら勉強すること、あとは常に学生に対する激励と愛情を忘れるな！！
ということです。
講演後のお疲れの中、貴重なお話をありがとうございました！
次回の「仕事人」もお楽しみに！

タイムスリップ 江戸時代

「市川染五郎と歌舞伎へ行こう!」

市川 染五郎/著 旬報社
Y/774/イ (¥1600)



歌舞伎は江戸時代の文化が育てた伝統芸能のひとつ。歌舞伎界の市川染五郎が、歌舞伎の舞台裏、演目解説、歌舞伎役者、観劇いろはなど、歌舞伎の魅力をわかりやすく伝えると共に、自ら、役者としての7代目市川染五郎について語る。

「図説暮らしとしきたりが見えてくる江戸しぐさ」

越川 禮子/監修 青春出版社
K/385.9/ズ (¥1000)

私たちが普段食事をするときに使う「いただきます」という言葉も、実は江戸時代に定着したといわれています。日本人なら忘れてはいけない「気づかい」「心づかい」など、基本的な「江戸しぐさ」を45紹介しています。



「ちっちゃなかみさん」

平岩 弓枝/著
角川書店 B/913.6/ヒラ (¥590)

ほろりとする短編集です。江戸で生きる女性の恋愛、結婚についての物語が多いのですが、家族のあり方、絆について考えさせられる物語でもあります。



「江戸おしゃれ図絵 衣裳と結髪の三百年」

菊地 ひと美/著
講談社 2階 一般/383.1/キ (¥1500)

江戸と一口に言っても、いろんなブームがありました。約300年のあいだに移り変わった服装や髪型などの流行を、ふんわりとしたイラストで紹介した本です。



「しゃばけ」 畠中 恵/著
新潮社 F/913.6/ハタ (¥1500)

江戸の大店の若だんな、一太郎。体の弱い彼の周りには、仲良しの妖怪が集まってきます。ある夜、ひとり歩きをした一太郎は人殺しを目撃して…!? ドラマ化もされた人気シリーズ。



「大奥列伝 ヒロインたちの『しきたり』と『おきて』」

山本 博文/監修
世界文化社 2階 一般/210.5/ヤ(¥1400)

2010年の秋公開された映画「大奥」を見た人はいますか? 映画では、男女逆転の「大奥」が描かれていましたが、実際の「大奥」とはどんな世界だったのでしょうか? この本は、大奥の「しきたり」と「おきて」、ファッションや流行、歴代の正室と側室まで、わかりやすく書いてありますよ。歴史が苦手な子にもオススメの1冊です。



「鬼太郎と行く妖怪道五十三次」
水木しげる/著
やのまん 2階大型/388.1/ミ(¥2200)

ゲゲゲの水木さんが、歌川広重『東海道五拾三次』をモチーフに「妖怪道中絵巻」を描きました。旅のお供はおなじみ、鬼太さん(鬼太郎)、ねずサン(ねずみ男)。どこかユーモラスな妖怪たち300匹が百鬼遊行の旅物語に誘います。

今回はYAボランティアの皆さんに、オススメの本を紹介してもらいました。現役高校生オススメの本、同年代の皆さんもお気に入りの一冊が見つかるかもしれませんよ☆ YAコーナーで展示しています。



展示風景

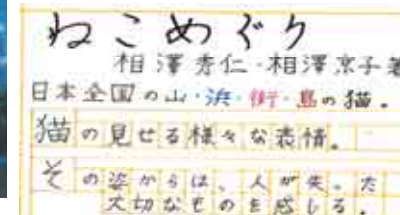
1冊ご紹介→
他にもいろいろあるよ♪



作業風景



「ねこめぐり にっぽん猫紀行」
相沢 秀仁/著 相沢 京子/著
二見書房
2F一般/748/ア (¥1300)



キラリ作家★ロアルド・ダール

第5回キラリ作家☆はロアルド・ダールです。

1916年、イギリスのウェールズに生まれました。空軍のパイロットとしての体験をもとにした作品をきっかけに、作家としての人生を歩み始めます。子ども向けの本を書いたのは45歳の時。子供たちが寝る時にお話を作って聞かせたのがきっかけでした。ピリっとしたブラックユーモアあふれる作品が多い作家です。

「マチルダはちいさな大天才」
ロアルド・ダール/作 宮下 嶺夫/訳
ケンティン ブレイク/絵
評論社 児童/933/ダ (¥1553)
天才少女マチルダが、理不尽な大人たちをやっつける!



「キス・キス」
ロアルド・ダール/著 開高 健/訳
早川書房 外国現代/933.7/ダ (¥2000)
短篇集で、どの作品もゾッと不気味な雰囲気のお話ばかりです。耳慣れない言葉も使われていますが、短いお話ばかりで読みやすいです。ダールの子どもの作品は全部読んでしまった、という人はチャレンジしてみてください!

「一年中わくわくしてた」
ロアルド・ダール コレクション 20
ロアルド・ダール/著 ケンティン
ブレイク/絵
評論社 児童/938/ダ/20
(¥1000)

1月から12月まで、イギリスの季節のうつろいと、子ども時代の思い出を綴った本。

